

梅雨どきを乗り切る 洗濯 & 部屋干しテクニク

梅雨になると気になる、生乾きのイヤなにおい。実は洗濯と乾かし方をちょっと工夫するだけで、簡単に解決することができます。今年の梅雨は気持ち良く過ごしましょう！

においの原因は「雑菌」と「汚れ」

梅雨どきの洗濯物は濡れた状態が長く続くため、雑菌が増えやすい環境にあります。そこに洗いきれていないタンパク汚れや皮脂汚れがあると、雑菌はそれらを栄養にして増殖し、ニオイの成分を発生させます。ニオイの予防には、発生元である「雑菌」の対策と、その栄養素となる「タンパク汚れ・皮脂汚れ」の対策が重要です。

洗濯機の掃除方法を check!

1 お酢パワーで洗濯槽の中をきれいに(月1回)

洗濯槽に水をはり、水とお酢が10:1の割合になるようにお酢を洗濯機に入れ、約2分間回した後、そのまま一晩置いたらいつもどおり洗濯機を回して排水したら完了です。普段から洗濯機の蓋を開けておくと、湿気がこもらずカビの予防になります。

2 酸素系漂白剤で本格クリーニング(大掃除のときに)

酸素系漂白剤(粉末:500g以上、液体:500ml~1,000ml)・不要な布・お湯(お風呂の残り湯など)を使います。

- ①洗濯槽いっぱい約45度のお湯をいれ酸素系漂白剤を入れて約2分間回して、排水せずにそのまま一晩置きます。
- ②漂白剤が入った状態で4~6回洗濯機を回して排水した後、3~4回程、キレイな水をいれて排水を繰り返します。
- ③仕上げに水と不要な布をいれて洗濯機を回すと目に見えにくかった汚れを布がとってくれます。排水して完了です。

干す前に気をつけることを check!

1 洗濯機の中に衣類をためない

湿気が多い洗濯機の中は雑菌が繁殖しやすい場所になっているので、通気性のいいランドリーボックスに置いておきましょう。また、洗う時に洗濯機に容量以上の衣類をいれたり、時間が経つことで汚れが落ちにくくなるので、洗濯はこまめに。

どうしても早く乾かしたい

時間がないとき、家にあるもので手早く乾かす!

用意するもの

・ドライヤー ・大きめのゴミ袋 ・洗濯物(Tシャツ3~4枚)

角を小さくカットしたゴミ袋に洗濯物をいれて、ドライヤーで温風を中に入れた後口を閉じ、袋を振ります。開けた穴から水分が逃げいき、Tシャツならば10分程度で乾きます。

洗濯の方法を check!

1 洗剤は分量を守りしっかり溶かす!

洗剤を多く入れると溶けきれずに衣類や洗濯機の中に残り、においの元や、アレルギーの原因になることも。また、衣類をいれる前に少量の水と洗剤を入れて洗濯機を回し、よく溶かすことで溶け残りによるにおいを防ぐことができます。

2 すすぎは必ずキレイな水で

残り湯など温かいお湯で洗うことは洗剤の酵素を活性化させる効果があり、節約にもなりますが、汚れが衣類に移るのですすぎに残り湯は使わないようにしましょう。

部屋干しのコツを check!

1 洗濯物同士の間隔をあけて干す

干すときに厚手と薄手の衣類を交互に干すなど、できるだけ間隔を開けて空気の通り道をつくることで乾きが早くなります。カーテンレールや壁沿いなど空気が動きにくい場所は、乾くの時間がかかってしまいます。

2 空気の流れをつくる

扇風機やサーキュレーターで風を当てて、洗濯物の周りに滞っている湿気を拡散することで通常より早く乾きます。壁や床が濡れても平気な浴室に干し、換気扇を回して湿気がこもらないようにしながら、扇風機で風を当てる方法もおすすめ。

3 かんたん除湿グッズ

新聞紙には除湿の効果があるので洗濯物を干した下に敷いたり、丸めたものをちらばしておくことで乾きが早くなります。また、薄手の衣類やほとんど乾いたものはアイロンをかけて乾かすと、干すスペースをとらずに済みます。かけた直後は湿気が残っていることがあるので、少し時間を置いてから収納しましょう。